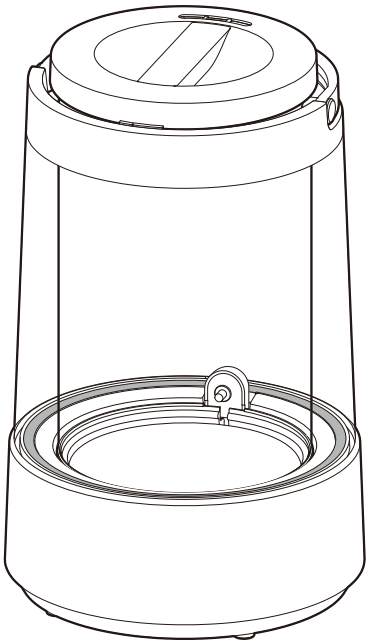
YAMAZEN

取扱説明書・保証書

●業務用として使用しないでください。
●他の用途で使用しないでください。
思わぬ事故の原因になります。

家庭用

スチーム式加湿器
KS-TM3



もくじ

▌安全上の注意……1～4
▌各部の名称……5
▌操作部と表示部の名称……6
▌設置について……7
▌使用前の準備……8～10
▌使用前に知っておいていただきたいこと……11
▌使いかた
●湿度センサーを電源コードに固定する……12
●電源プラグを家庭用コンセントに差し込む……12
●運転する……12
●加湿量　または　湿度を設定する……13
●タイマーを設定する……14
●チャイルドロックを設定する……15
●LEDムードランプを設定する……15
●おやすみモードを設定する……16
●給水表示（水が無くなったとき）……16～17
●使用後は……17
▌エラー表示について……18～19
▌お手入れと保管……19～23
▌仕　様……24
▌故障かな？と思ったら……24～26
▌点検のお願い……26
▌アフターサービスについて……26
▌保証書……裏表紙

この製品は、海外では使用できません。
FOR USE IN JAPAN ONLY

●このたびは、弊社加湿器をお買上げいただき誠にありがとうございました。
●使用する前に、この取扱説明書を必ずよく読み正しく安全に使用してください。
●読んだあとは、大切に保管してください。

最新情報はオリジナルブランドページ
YAMAZEN BOOK を
チェック!

随時情報を更新中!

安全上の注意

使用する前に「安全上の注意」をよく読み、必ず守ってください。

※ここに示した項目は、製品を安全に正しく使用するためや、使用する人や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。また危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

⚠ **警告**	この表示を無視して誤った取扱いをすると、死亡 または 重傷を負うことが想定される内容を示しています。
⚠ **注意**	この表示を無視して誤った取扱いをすると、傷害を負ったり物的損害の発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

⃠記号は、禁止「してはいけないこと」を表示しています。図の中に具体的な禁止内容（左図の場合は、分解禁止）が描かれています。

❗記号は、強制「しなければいけないこと」を表示しています。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は、電源プラグをコンセントから抜く）が描かれています。

※読んだあとは、使用する人がいつでも手に取れる場所に、必ず保管してください。

⚠ 警告

■ 電源コード・電源プラグについて

指示に従う

電源プラグは、根元まで確実に真っ直ぐ差し込む

●発熱・感電・火災の原因になります。
◎斜めに差し込まない。

禁止

電源コードや電源プラグを傷付けたり、破損させたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、巻き付けたり、たばねて使用しない

●ショート・感電・火災の原因になります。
◎必ず結束バンドを外して、電源コードをのばす。

指示に従う

本体、水タンク、電源コード、電源プラグに破損、故障、異常があったり、異常に熱くなるときは、直ちに使用を中止する

●やけど・感電・火災の原因になります。
※故障・異常例
26ページの「点検のお願い　こんな症状はありませんか?」を参照して異常があるときは、直ちに使用を中止する。必ず電源プラグをコンセントから抜き、お買上げの販売店に点検や修理を依頼してください。

プラグを抜く

使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜く

●感電・漏電火災の原因になります。

禁止

家庭用コンセント（AC100V）以外で使用したり、コンセントや配線器具の定格を超える使いかたはしない

●家庭用コンセント（AC100V）以外で使用すると、誤作動・故障の原因になります。
●コンセントや配線器具の定格を超える使いかたをすると、異常発熱・火災の原因になります。（タコ足配線など）

指示に従う

定期的に電源プラグのホコリをふき取る

●ホコリがたまると、湿気によって絶縁不良となり、ショート・感電・火災の原因になります。
◎ホコリは、乾いたふきんでふき取る。

禁止

電源コードや電源プラグが傷んでいたり、差し込みがゆるいときは、使用しない

●ショート・感電・火災の原因になります。
◎電源コードが破損した場合、コードの交換は危険を防止するために、製造業者若しくはそのサービス代理店 または これらと同等の有資格者によっておこなわなければならない。

禁止

電源コードの上に、本体や物を載せたり、挟み込まない

●ショート・感電・火災の原因になります。

指示に従う

電源コードを引っ掛けないように注意する

●転倒や落下して熱湯がこぼれ、やけど・感電・火災の原因になります。

⚠警告

■ 設置について

禁止

可燃性ガスや引火性の物がある場所に設置しない（ガソリンやシンナーなど）

スプレー缶を近くに置かない（掃除用、整髪用、殺虫剤など）

●爆発・火災の原因になります。

禁止

じゅうたんの上や不安定な場所に設置しない

●転倒や落下して熱湯がこぼれ、やけど・感電・火災の原因になります。

◎安定した水平な場所に設置する。

禁止

電気製品や精密機器の近くに設置しない（パソコンなど）

●電気製品や精密機器が加湿によって湿気をおびて、ショート・感電・火災の原因になります。

◎電気製品、精密機器、電源プラグ、コンセントにスチームをあてない。

水ぬれ禁止

水がかかる場所や水にぬれた場所に設置しない

●ショート・感電・火災の原因になります。

■ 使用について

分解禁止

分解、修理、改造をしない

●やけど・感電・火災の原因になります。

※修理は、お買上げの販売店に依頼してください。

禁止

電源プラグ、接続部、すき間、開口部に、金属物や異物を付着させたり、入れない

●ショート・感電・火災の原因になります。

禁止

使用中や使用後十分冷めるまでは、ふたを取り外したり、水タンク（とくにガラス部分）に触れない

●蒸気、湯滴、熱くなった水タンクに触れると、やけどの原因になります。

プラグを抜く

給水や排水するときは、必ず電源プラグをコンセントから抜き、水タンクを取り外す

●ショート・感電の原因になります。

◎やけどの原因になるため、本体や水タンクが十分冷めてから水タンクを取り外す。

禁止

給水や排水するときは、接続部や検知棒カバーをぬらさない

●接続部や検知棒カバーに水がかかると、ショート・感電・火災の原因になります。

◎水タンクをぬれているシンクなどに直接置かない。

禁止

子供や取扱いに不慣れな方だけで使用しない

乳幼児の手の届く場所で使用したり、保管しない

●けが・やけど・感電の原因になります。

◎この機器は、安全に責任を負う人の監視 または 指示がない限り、補助を必要とする人（子供を含む）が単独で機器を用いることを意図していない。

◎この機器で遊ぶことがないように、子供を監視することが望ましい。

接触禁止

蒸気に手や顔を近づけたり、触れない

●やけどの原因になります。

◎高温の水蒸気が放出されるため、機器を用いるときは注意することが望ましい。

◎十分冷めるまでは、吹出口に手や顔を近づけたり、触れないように注意する。とくに乳幼児には、触らせないように注意する。

ふたの吹出口に表示している左記記号の意味は、高温注意を表しています。使用中は、蒸気や吹出口に手や顔を近づけないよう注意喚起しているものです。

指示に従う

水タンクの水は、毎日新しく入れ替える

●カビや雑菌が繁殖して異臭がしたり、健康を害する原因になります。

⚠警告

■ お手入れ・保管について

プラグを抜く

お手入れのときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く
- ショート・やけど・感電の原因になります。

◎電源プラグをコンセントに差し込んだまま、お手入れをしない。

ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない
- ショート・感電の原因になります。

指示に従う

お手入れのときは、本体、水タンク、ヒーターが十分冷めてからおこなう
- やけどの原因になります。

指示に従う

包装用ポリ袋は、子供の手の届かない場所に保管する
- 誤って顔にかぶったり、巻き付いたりして、窒息する原因になります。

水ぬれ禁止

本体、接続部、電源プラグを水に入れたり、水をかけたり、丸洗いをしない
- ショート・感電・火災の原因になります。

◎接続部をぬらしてしまったときは、直ちに使用を中止して、水分をふき取りよく乾燥させる。

禁止

お手入れに薬品、塩素系、酸性タイプの洗浄剤を使用しない
- 有毒ガスが発生して、健康を害する原因になります。

禁止

各種スプレーを吹き付けない（掃除用、整髪用、殺虫剤など）
- 本体内部にガスが滞留して、爆発・火災の原因になります。
- 変色・破損の原因になります。

⚠注意

■ 電源コード・電源プラグについて

指示に従う

電源プラグを抜くときは、電源プラグを持って、真っ直ぐ抜く
- 電源コードを持って抜くと断線して、ショート・感電・火災の原因になります。

◎電源コードを引っ張って抜かない。

禁止

電源コードを持って本体を引っ張らない
- 設置場所が傷付いたり、電源コードが断線して、ショート・感電・火災の原因になります。

指示に従う

電源プラグを抜くときは、必ず電源スイッチをタッチして電源を切ってからおこなう
- 故障の原因になります。

■ 設置について

禁止

油、油煙、金属粉が発生する場所やホコリの多い場所に設置しない（厨房や工場など）
- 変形・故障・感電・火災の原因になります。

禁止

直射日光があたる場所、火気や熱源の近く、温度が高くなる場所に設置しない（コンロや暖房器具の近くなど）
- 変色・変形・水漏れ・火災の原因になります。

禁止

屋外に設置しない
- ショート・感電・火災の原因になります。

禁止

壁、天井、家具の近くや棚の中に設置しない
- スチームにより壁、天井、家具を傷めたり、ショート・感電の原因になります。

禁止

畳や熱に弱い敷物の上に設置しない（テーブルクロスなど）
- 変色・変形の原因になります。

禁止

湿度が極端に高い場所に設置しない
- 結露して家具や床を湿らせたり、ぬれる原因になります。

⚠注意

■ 使用について

禁止

業務用に使用しない
- 無理な負担がかかり、破損・故障・火災の原因になります。

◎本製品は、家庭用および室内用です。

禁止

水タンクに水道水以外の物を入れない
- カビや雑菌が繁殖しやすくなって健康を害したり、破損・故障・噴きこぼれの原因になります。

◎下記の物は、入れない。
- ミネラルウォーター
- アルカリイオン水
- 浄水器の水
- 井戸水
- お湯（40℃以上）
- 汚れた水
- 化学薬品
- 除菌剤
- 芳香剤
- アロマオイル

禁止

吹出口や通気穴をふさがない
- 変形・故障の原因になります。

指示に従う

本体を持ち運ぶときは、必ず電源プラグをコンセントから抜き、本体をしっかり持っておこなう
- けが・ショートの原因になります。

◎水タンクに水が入っているときは、水タンクを取り外してから持ち運ぶ。

禁止

水タンクの取っ手を持って振り回さない
- 取っ手が破損し、けがの原因になります。

禁止

落としたり、強い衝撃を与えない
- 破損・故障・けがの原因になります。

指示に従う

動物がいる部屋で使用するときは、十分注意する（犬や猫など）
- 本体や電源コードを傷め、故障・感電・火災の原因になります。

禁止

室内の加湿用途以外で使用しない
- やけど・感電の原因になります。

禁止

MAX線以上水を入れない
- お湯が噴きこぼれて、やけど・ショート・感電の原因になります。

禁止

取っ手にスチームをあてない
- 取っ手が熱くなってやけどをしたり、変形の原因になります。

◎取っ手を上げた状態で使用しない。

指示に従う

水タンクを取り外したり、持ち運ぶときは、必ず取っ手を持つ
- やけどの原因になります。

指示に従う

水タンクの取扱いに注意する
- 破損・けがの原因になります。

◎水タンクは、ガラス製です。
落としたり、物にぶつけたりして衝撃が加わると、ひび割れたり、欠けたり、破損するため取扱いに注意する。

指示に従う

使用しないときや凍結のおそれがあるときは、排水しておく
- カビや雑菌が繁殖して異臭がしたり、水タンクが割れて、水漏れや故障の原因になります。

■ お手入れ・保管について

禁止

お手入れには、シンナー、ベンジン、漂白剤、みがき粉、たわし、スポンジの研磨面、金属ブラシ類は使用しない
- 変色・傷・破損の原因になります。

◎お手入れは、19～23ページの「お手入れと保管」を参照する。
◎傷が付きやすい物やかたい物でお手入れをしない。

禁止

本体に腰かけたり、物を載せない
- 破損・故障・けがの原因になります。

指示に従う

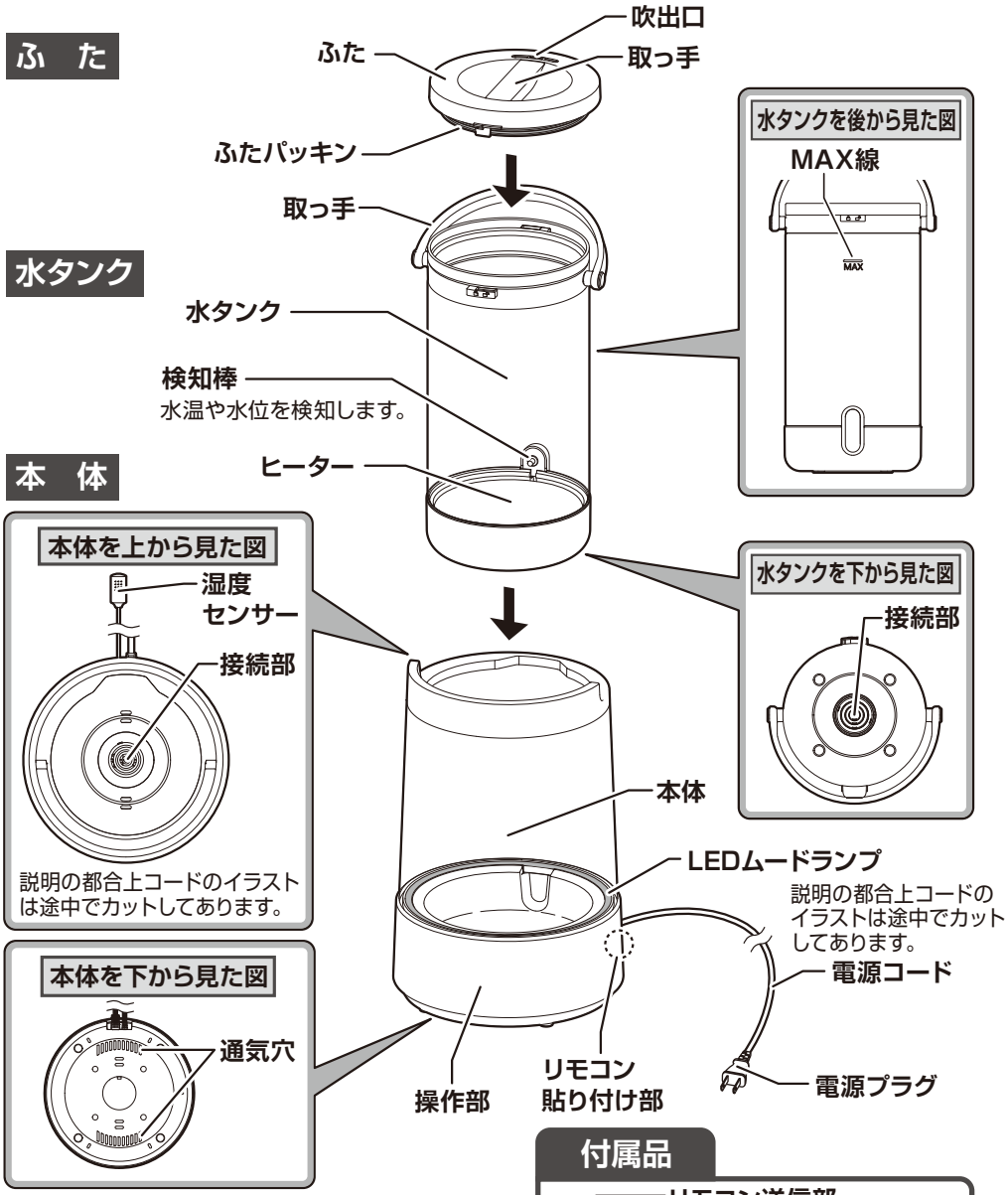
お手入れは、こまめにおこなう
- 水アカ汚れやカルキ汚れが付着したまま放置すると、加湿量が低下したり、運転が途中で停止したり、水漏れや誤検知する原因になります。

指示に従う

電源プラグや接続部の汚れは、乾いたやわらかいふきんでふき取る
- ショート・感電の原因になります。

◎電源プラグや接続部は、ぬれたふきんでふかない。

各部の名称



付属品

●本書は、イラストを用いて説明しています。
実際の製品とは、多少異なることがあります。

■ お知らせ

検査のために使用した水が製品に付着していることがありますが、品質やご使用に影響はありません。気になるときは、ゆすいだり、ふき取ってください。

操作部と表示部の名称

操作部/表示部

表示部 現在湿度、加湿量設定、湿度設定、タイマー設定/時間、給水、エラーを表示します。

湿度マーク

加湿マーク

チャイルドロックマーク

タイマーマーク

湿度スイッチ

加湿量スイッチ

リモコン受信部
内部にあるため、外観からは見えません。

電源スイッチ

長押し

長押し

短押し（短タッチ）タイマースイッチ

長押し（長タッチ）チャイルドロックスイッチ

短押し（短タッチ）LEDムードランプスイッチ

長押し（長タッチ）おやすみスイッチ

●各スイッチは、タッチスイッチになっています。
指が汚れていたり、ぬれていると反応しないことがあります。

現在湿度の表示について

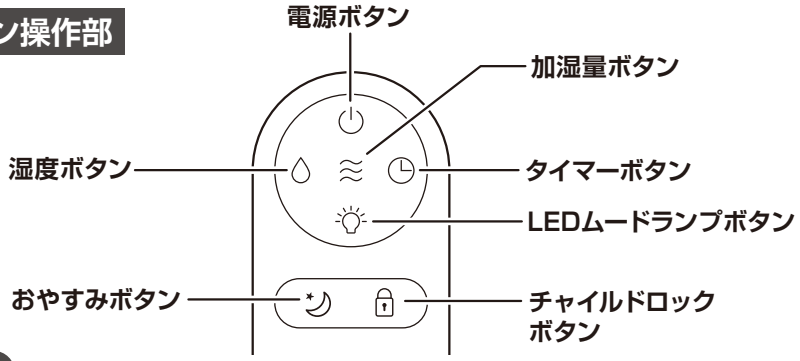
●電源コードに固定した湿度センサーで、本体周辺の湿度を検知して表示しています。湿度はお部屋の場所によってムラがあるため、表示部に表示している現在湿度とお部屋の湿度計が異なることがあります。

●設置場所がぬれていたり、湿度センサーに物がかぶさっていると湿度の検知や表示が正常にできない原因になります。

●検知した湿度を右記のように表示します。

◎31%～79%まで・・・数字で表示
◎30%以下・・・・・・・「LO」で表示
◎80%以上・・・・・・・「HI」で表示

リモコン操作部



お願い

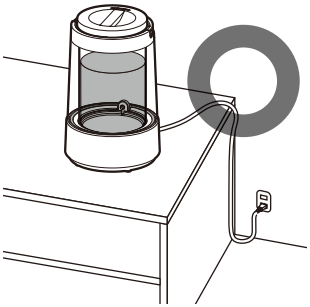
※ボタンは、1つずつ押してください。
（2つのボタンを同時に押さないでください）

設置について

※設置するときは、下記に注意して設置してください。

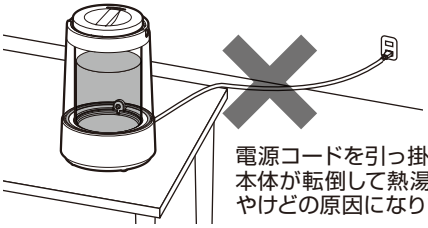
正しい設置場所

■ 吹出口から上方1m以内にスチームをさえぎる物がなく、壁や家具との距離が十分に確保できる、安定した水平な場所に設置します。



注 意：電源コードを引っ掛けないように注意する

●電源コードを浮かせたり、人が通る場所に這わせたりすると、電源コードを引っ掛ける原因になります。



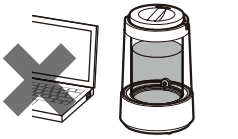
電源コードを引っ掛けると
本体が転倒して熱湯がこぼれ
やけどの原因になります。

こんな場所には設置しない

■ 電気製品や精密機器の近く（パソコンなど）

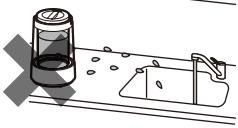
●電気製品や精密機器が加湿によって湿気をおびて、ショート・感電・火災の原因になります。

※電気製品、精密機器、電源プラグ、コンセントにスチームをあてないでください。



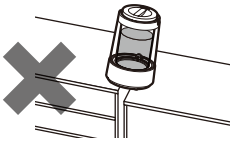
■ 水がかかる場所や水にぬれた場所

●ショート・感電・火災の原因になります。



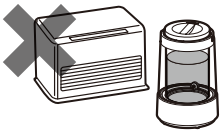
■ じゅうたんの上や不安定な場所（段差がある場所など）

●転倒や落下して熱湯がこぼれ、やけど・感電・火災の原因になります。



■ 直射日光があたる場所、火気や熱源の近く、温度が高くなる場所（コンロや暖房器具の近くなど）

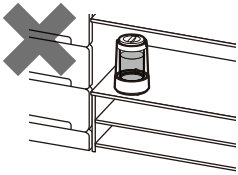
●変色・変形・水漏れ・火災の原因になります。



■ 壁、天井、家具の近くや棚の中

●スチームにより壁、天井、家具を傷めたり、ショート・感電の原因になります。

※高級家具がある場所で使用するときは、とくに注意してください。



使用前の準備

リモコンの準備

コイン形リチウム電池の入れかた

●電池ホルダーのツメを矢印の方向に押しながら、電池ホルダーを引き出します。
●電池の**+**側を上にして電池ホルダーに載せ、電池ホルダーをリモコンに差し込みます。

※付属のコイン形リチウム電池は、テスト用のため早く消耗することがあります。
リモコン操作ができなくなったときは、電池を交換してください。
※交換用電池は、市販のコイン形リチウム電池 CR2025 1個をお買求めください。

⚠注 意

指示に従う

コイン形リチウム電池の取扱いには、十分注意する
●破裂・傷害・火災の原因になります。
◎分解したり、改造をしない。　◎加熱したり、火の中に入れない。　◎使用済みの電池は、絶縁しておく。
◎乳幼児の手の届く場所に置いたり、保管しない。 誤飲の原因になります。
※万一飲み込んだときは、すぐに医師に相談してください。

注 意

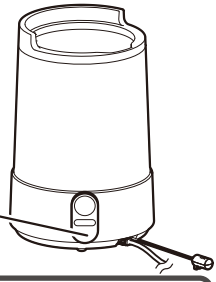
※電池の**+**と**ー**を間違えないように、正しく入れてください。(操作できない原因)
※損傷(変形や傷)があったり、異物が付着した電池は使用しないでください。(故障の原因)
※液漏れしたときは、素手で液に触れないでください。(健康を害する原因)
万一触れたときは、水でよく洗い医師に相談してください。
※リモコンを長期間使用しないときは、電池を取り出してください。(故障の原因)
※使用済みの電池を廃棄するときは、**+**と**ー**それぞれの電極にビニルテープを貼って必ず絶縁してから、各自治体の指示に従い廃棄してください。(ショートの原因)

操作のしかた

●リモコン送信部をリモコン受信部 (本体操作部) に向け、ボタンを押して操作します。
●リモコンで操作できる範囲は、約3mです。
●次のような場所では、リモコンで操作できないことがあります。
◎リモコン送信部とリモコン受信部の間に、障害物がある場所。
◎リモコン受信部に、直射日光や照明器具の強い光があたる場所。
◎インバーター照明器具を使用している場所。

リモコンを本体に貼り付ける

●リモコンを本体の「⦶」マークにあてると、マグネットで本体に貼り付けておくことができます。



注 意

※リモコンを落としたり、踏んだり、リモコン送信部を傷付けたり、液状の物をかけないでください。(操作できなくなる原因)

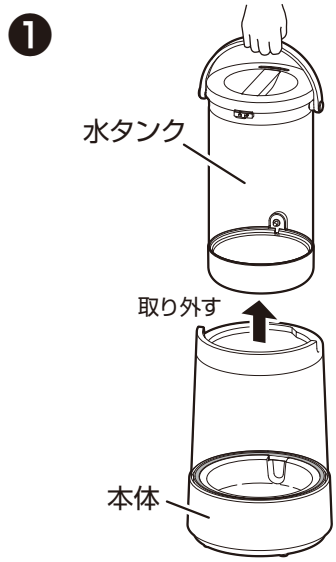
使用前の準備

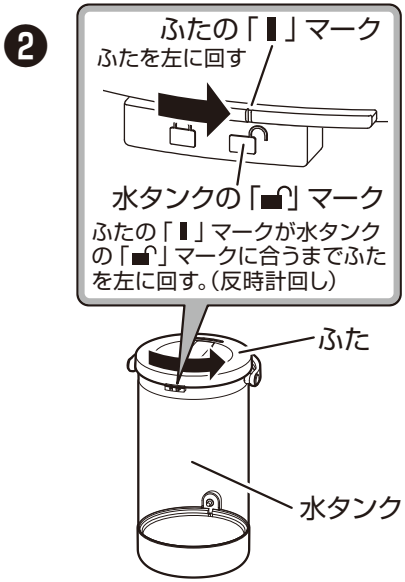
必ずお守りください

※給水するときは、必ず電源プラグをコンセントから抜き、本体や水タンクが十分冷めてから水タンクを取り外しておこなってください。（やけど・感電の原因）

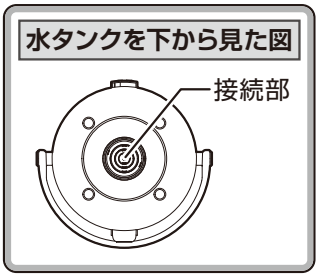
水タンクに給水する

❶水タンクの取っ手を持って、水タンクを持ち上げて取り外します。
❷水タンクのふたを左に回して、取り外します。





❸水タンクに給水します。



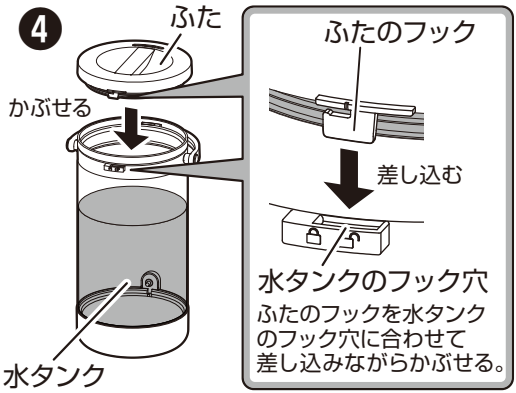
注 意

※給水するときは、接続部や検知棒カバーをぬらしたり、ぬれているシンクなどに水タンクを直接置かないでください。（感電・火災の原因）
接続部や検知棒カバーをぬらしてしまったときは、すぐに水分をふき取りよく乾燥させてください。

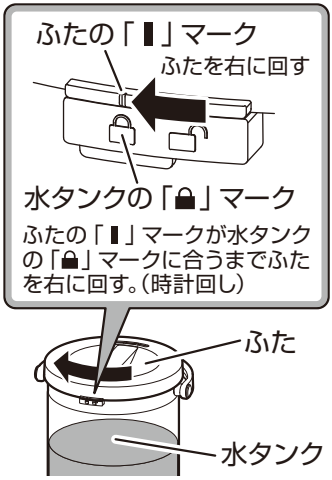
水タンクに給水する　つづき

❹ふたを水タンクにかぶせます。
❺ふたを右に回して、取り付けます。

❹

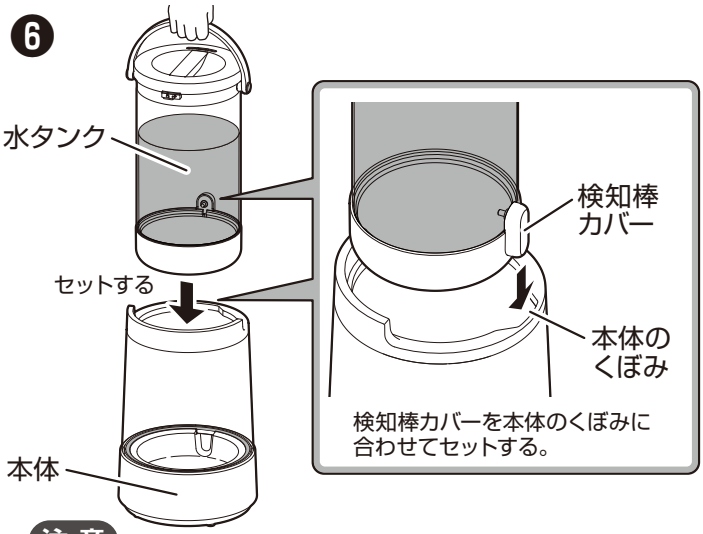


❺



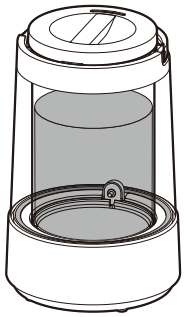
❻水タンクを本体にセットします。
❼取っ手を倒します。

❻



❼

取っ手を倒した状態



取っ手を上げた状態で使用しない。

注 意

※水タンクは、ガラス製です。
　落としたり、物にぶつけたり、衝撃が加わるような取扱いをしないでください。
　（ひび割れ・破損の原因）
※取っ手を上げた状態で使用すると、取っ手にスチームがあたり熱くなるため、必ず倒した状態で使用してください。（やけどの原因）

使用前に知っておいていただきたいこと

必ずお守りください

スチームで加湿しています。
やけどをしないために、次のことを必ず守ってください。

- **乳幼児の手の届く場所で使用しない。**
- **使用中は、ふたを取り外したり、蒸気に手や顔を近づけたり、触れない。**
- **スチームを吸入しない。（吸入器ではありません）**

スチームについてのお知らせ

- ヒーターで水を加熱して沸騰させたスチームで加湿するため、スチームが発生するまでに多少の時間がかかります。
  また水量、室温、水温によってスチームが発生するまでの時間がかわります。
- 運転状況によっては沸騰音がしますが、故障や異常ではありません。
- 使用環境（室温が高かったり、湿度が低いなど）によっては、スチームが空気中に気化しやすくなるため、使い始めや運転中にスチームが見えにくいことがあります。

フレークス現象について

- 使用中、水タンク内に針状や繊維状のキラキラとした浮遊物が見えることがあります。
  これは「フレークス現象」といわれるもので、水道水に含まれるミネラル成分が加熱されることで結晶化したもので、比較的ミネラル成分の多い水やアルカリ性の強い水で、この現象が起こりやすくなります。
  この浮遊物は、ガラスの破片や異物の混入ではなく、水道水に含まれる成分ですので健康を害したり、人体に影響はありません。

減光について

- 各スイッチの無操作状態が約30秒継続すると、各表示が減光する仕様です。
  再度各スイッチのいずれかを操作すると、元の明るさにもどります。

照明器具のちらつきについて

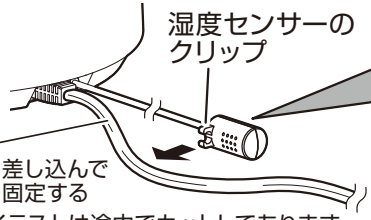
- 設定内容に合わせてヒーターの出力を制御して加湿量を調節したり、コントロールしています。
  ヒーターの出力制御にともなって、消費電力が変動することで屋内の電圧が変動してお使いの照明器具の種類によっては一瞬暗くなったり、ちらつくことがあります。

使いかた

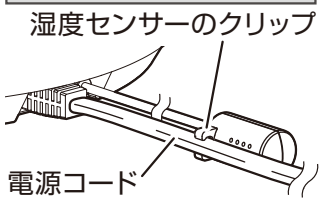
湿度センサーを電源コードに固定する

●電源コードをのばします。
●湿度センサーのクリップを電源コードに差し込んで固定します。

使用するときは、必ず結束バンドを外して、電源コードをのばす。



湿度センサーを電源コードに固定した状態

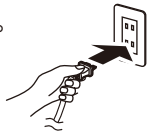


説明の都合上コードのイラストは途中でカットしてあります。

電源プラグを家庭用コンセント（AC 100V）に差し込む

●電源プラグを家庭用コンセントに、根元まで確実に差し込みます。

電源プラグをコンセントに真っ直ぐ差し込む。



運転する

〔現在湿度が50%のとき〕

●電源スイッチをタッチします。
●加湿マークが点灯して、表示部に「- -」が表示され、加湿量「弱」で運転を開始します。（初期状態運転）
●「- -」を約5秒間表示したあと、現在湿度表示にかわります。
●運転開始時は、沸騰するまで最大出力で加熱します。
沸騰すると、設定した加湿量や湿度で運転します。
メモリ機能がはたらいているときは、メモリしている設定内容で運転します。
●運転中に電源スイッチをタッチすると、電源が切れます。

注 意

※室温が低いお部屋で加湿器を使用すると、結露しやすくなるため注意してください。（家具や床がぬれる原因）

メモリ機能について

■ **メモリ機能が付いています。**

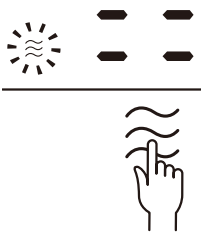
●運転終了時の「加湿量設定」または「湿度設定」と「LEDムードランプ」の設定状態がメモリされます。
●メモリ機能がはたらいていると次に電源を入れたとき、メモリした内容が自動的に設定され運転を開始します。
●メモリ機能は、電源プラグをコンセントから抜いたり、停電して電源が供給されなくなるとリセットされて、次に運転するときは初期状態で運転を開始します。

加湿量 または 湿度を設定する

加湿量を設定すると連続運転、湿度を設定すると自動運転をおこないます。

加湿量を設定する ■ 湿度に関係なく、設定した加湿量で連続運転します。

〔加湿量 中 に設定したとき〕



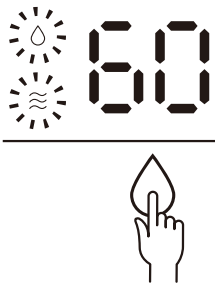
- 運転中に、加湿量スイッチをタッチします。
- 表示部に加湿量が点滅表示されます。
- スイッチをタッチするごとに、加湿量が下記のように順送りで点滅表示されます。
- 表示部を見ながら選択します。

加湿量設定	加湿量（約）
弱	300mL/h
中	450mL/h
強	600mL/h

- お好みの加湿量を選択して5回点滅すると、加湿量が設定されます。
  設定した加湿量を約2秒間表示してから、現在湿度表示にもどります。

湿度を設定する ■ 設定した湿度に応じて加湿量をコントロールして自動運転します。

〔湿度 60% に設定したとき〕



- 運転中に、湿度スイッチをタッチします。
- 湿度マークが点灯して、表示部に湿度が点滅表示されます。
- スイッチをタッチするごとに、湿度が下記のように順送りで点滅表示されます。
- 表示部を見ながら選択します。

湿度設定を解除すると、加湿量「弱」で連続運転します。

- お好みの湿度を選択して5回点滅すると、湿度が設定されます。
  設定した湿度を約2秒間表示してから、現在湿度表示にもどります。

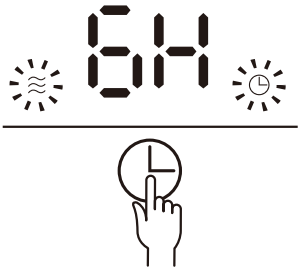
湿度を設定したときの運転について

- 設定した湿度に応じて加湿量をコントロールしながら自動運転します。
- 「AU オート」に設定したときは、湿度（湿度表示）が50%～60%になるように、加湿量をコントロールしながら自動運転します。
- 湿度を設定したときや「AU オート」に設定したときは、常に設定した湿度で一定に保たれるものではなく、多少高くなることや、低くなることがあります。

タイマーを設定する

■ 設定時間が経過すると電源が切れます。

〔タイマー時間を 6時間 に設定したとき〕



- 運転中に、タイマースイッチをタッチします。
- タイマーマークが点灯して、表示部にタイマー時間が表示されます。
- スイッチをタッチするごとに、タイマー時間が下記のように順送りで設定されます。
- 表示部を見ながら設定します。

1H→2H→3H→4H→5H→6H→7H→8H

タイマー解除（連続運転）

- 設定後、時間が経過すると「8H」→「7H」→「6H」→「5H」→「4H」→「3H」→「2H」→「1H」と表示がかわり、電源が切れるまでの残り時間を表示します。

お知らせ

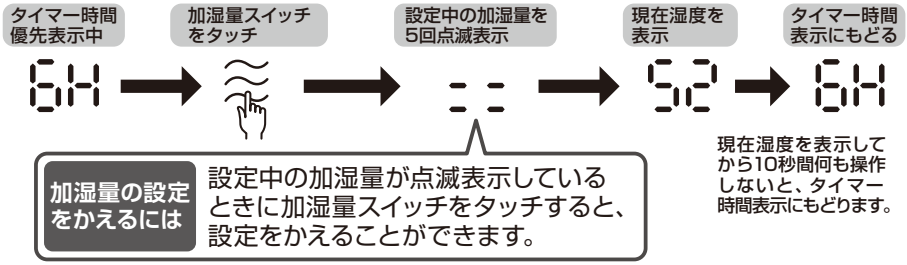
- タイマーを設定すると、表示部にタイマー時間が優先表示されます。
- タイマーが設定されているときに水タンクの水位が規定以下になると、タイマーが解除されて運転が停止します。

タイマー時間優先表示中に、現在設定中の加湿量 または 湿度を確認する

- タイマー時間優先表示中に、現在設定中の加湿量 または 湿度を確認したいときは加湿量スイッチ または 湿度スイッチをタッチします。

設定中の加湿量を確認する

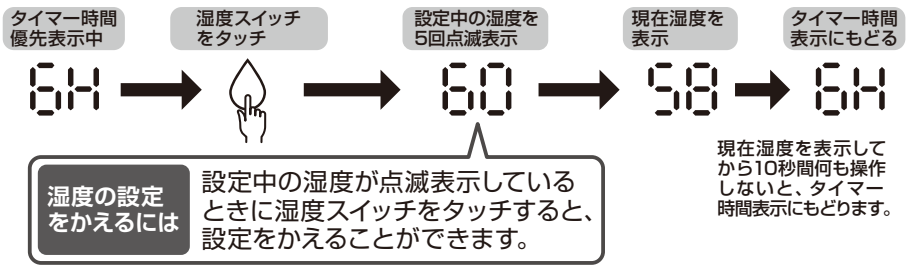
例：タイマーを「6H」、加湿量を「中」に設定しているとき



加湿量の設定をかえるには　設定中の加湿量が点滅表示しているときに加湿量スイッチをタッチすると、設定をかえることができます。

設定中の湿度を確認する

例：タイマーを「6H」、湿度を「60%」に設定しているとき



湿度の設定をかえるには　設定中の湿度が点滅表示しているときに湿度スイッチをタッチすると、設定をかえることができます。

チャイルドロックを設定する

〔チャイルドロックを設定したとき〕

- 運転中に、タイマースイッチを **長タッチ** します。
- チャイルドロックマークが点灯して、チャイルドロックが設定されます。
- チャイルドロック設定中にタイマースイッチを長タッチすると、チャイルドロックが解除されます。
- チャイルドロックを設定すると、チャイルドロックの解除または　電源スイッチで電源を切る以外の操作ができなくなります。

リモコンで設定するときは	●リモコンのチャイルドロックボタンを押します。（長押しする必要はありません）

お知らせ

- チャイルドロックは、電源を切っても解除するまで継続します。
  ※電源を切ったあとに再度運転をおこなうときは、チャイルドロックを解除してから電源を入れて運転してください。
  チャイルドロックを解除しないと電源が入りません。

LEDムードランプを設定する

- 運転中に、LEDムードランプスイッチをタッチします。
- LEDムードランプが点灯します。
- スイッチをタッチするごとに、明るさや色が下記のように順送りで設定されます。
- LEDムードランプを見ながら設定します。

白色（暗い） → **白色**（明るい） → **暗色**（暗い） → **暗色**（明るい） → **ランプ消灯** → **白色**（暗い）

お知らせ

- LEDムードランプは、運転中のみ設定することができます。
- LEDムードランプ設定中におやすみモードを設定すると、LEDムードランプが消灯します。
  LEDムードランプとおやすみモードを併用したいときは、おやすみモード設定後にLEDムードランプを再設定します。

おやすみモードを設定する

就寝時に各表示を消灯して暗くした状態で運転するモードです。

〔おやすみモードを設定したとき〕

加湿マークのみ
減光して点灯

- 運転中に、LEDムードランプスイッチを **長タッチ** します。
- 表示部や各マークが消灯します。
  ただし加湿マークは、消灯することなく減光表示します。
  （チャイルドロック設定時は、チャイルドロックマークも減光表示します）
- おやすみモード中に、LEDムードランプスイッチを長タッチすると、おやすみモードが解除されて表示部や各マークが点灯します。
- 自動的に電源は切れませんので、就寝中に電源を切りたいときは、タイマーを設定します。

リモコンで設定するときは	●リモコンのおやすみボタンを押します。（長押しする必要はありません）

※おやすみモードとLEDムードランプを併用するときは、15ページの「LEDムードランプを設定する」のお知らせを参照してください。

給水表示（水が無くなったとき）

〔水位が規定以下になったとき〕

（給水表示）

- 運転中に、水タンクの水位が規定以下になると「ピッ、ピッ、ピッ」と音が鳴り、運転が停止して表示部に「EP」が5回点滅表示したあと、点灯表示にかわります。
- 「EP」が表示された状態で、約10分間放置すると、自動的に電源が切れます。
- 「EP」が表示されたときは、電源スイッチで電源を切る以外の操作ができなくなります。

運転を再開するとき	●電源プラグをコンセントから抜き、水タンクを取り外します。 ●水タンクに給水して、本体にセットします。 （自動的に運転は再開されません） ●電源スイッチをタッチして、運転を再開します。
運転をやめるとき	●電源スイッチをタッチして、電源を切ります。

必ずお守りください

※給水するときは、必ず電源プラグをコンセントから抜き、本体や水タンクが十分冷めてから水タンクを取り外しておこなってください。（やけど・感電の原因）

注意

※水タンクを取り外したり、持ち運ぶときは、必ず取っ手を持ってください。
（やけどの原因）

※ふたを取り外すときは、十分冷めてからおこなってください。（やけどの原因）

給水表示（水が無くなったとき）　つづき

規定の水位について

●検知棒付近を基準に水位の「規定以上」、「規定以下」を検知しています。
したがって、検知棒付近まで水が残っていても「EP」が表示され運転が停止します。
●水タンク内（とくに検知棒周辺）に水アカ汚れやカルキ汚れが付着すると、誤検知して下記①、②の状態になることがあります。

①水位が規定以上あるのに、給水表示「EP」が表示される。

②水位が規定以下になっても、給水表示「EP」が表示されず運転が停止しない。
（このとき渇水状態になることがありますが、安全装置がはたらくため運転が停止します）

※誤検知防止のため、水タンク内（とくに検知棒周辺）は汚れが付着しないように、こまめにお手入れをしてください。

使用後は

●電源を切ってから、電源プラグをコンセントから抜きます。
※電源プラグを抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。
●水アカ汚れやカルキ汚れ固着防止のため排水して、19～23ページの「お手入れと保管」に従ってお手入れをします。

電源プラグをコンセントから真っ直ぐ抜く。

必ずお守りください

※排水するときは、必ず電源プラグをコンセントから抜き、本体や水タンクが十分冷めてから水タンクを取り外しておこなってください。（やけど・感電の原因）

水が凍結するおそれがあるときは

●水が凍結するおそれがあるときは、排水しておきます。
※万一凍結したときは、暖房器具や熱湯で溶かしたりしないで、常温で自然に溶かしてください。

エラー表示について

表示部に「00」が表示されたときは

水タンクを取り外すときは、必ず電源を切ってから電源プラグをコンセントから抜き、本体や水タンクが十分冷めてからおこないます。

電源が入ったまま水タンクを取り外すと、エラーが表示されます。

〔水タンクを取り外したとき〕

（エラー表示）

- 電源を入れたまま水タンクを取り外すと、「ピッ、ピッ、ピッ」と音が鳴り、運転が停止して表示部にエラー表示「00」が5回点滅表示したあと、点灯表示にかわります。
- エラーが表示されたときは、電源スイッチで電源を切る以外の操作ができなくなります。
- エラーが表示された状態で、水タンクを本体にセットしたり、約10分間放置すると自動的に電源が切れます。
- 運転を再開するときは、給水した水タンクを本体にセットしてから電源スイッチをタッチして、運転を再開します。

水タンクがセットされているのに「00」が表示されるときは

※水タンクがセットされている状態や運転中にエラー表示「00」が表示されたときは、下記の処置をおこなってください。

①電源を切ってから電源プラグをコンセントから抜く。
②本体から水タンクを取り外してセットし直す。
③電源プラグをコンセントに差し込み、電源を入れる。

上記の処置をおこなって「00」が表示されなくなれば正常ですが、再度表示されるときは故障が考えられますので、お買上げの販売店に点検や修理を依頼してください。

表示部に「E 1」、「E2」、「E3」が表示されたときは

〔センサーや検知棒が故障したとき〕

（エラー表示）

- 湿度センサーや検知棒が故障すると、運転が停止して表示部にエラー表示「E 1」、「E2」、「E3」のいずれかが5回点滅表示したあと、点灯表示にかわります。
- エラーが表示されたときは、電源スイッチで電源を切る以外の操作ができなくなります。
  使用を中止して、お買上げの販売店に修理を依頼してください。

エラー表示について

表示部に「E4」が表示されたときは

〔転倒OFFスイッチが
はたらいたとき〕

E4

（エラー表示）

- 運転中や水タンクに水が入っている状態で本体が大きく傾いたり、転倒すると安全のため転倒OFFスイッチがはたらき運転が停止して、表示部にエラー表示「E4」が5回点滅表示したあと、点灯表示にかわります。
- エラーが表示されたときは、電源スイッチで電源を切る以外の操作ができなくなります。
- 運転を再開するときは、本体を正常な状態に戻してから電源スイッチをタッチして、運転を再開します。

お手入れと保管

水アカ汚れやカルキ汚れを放置すると、汚れの固着、異臭、カビや雑菌の繁殖、故障、水漏れ、安全装置がはたらいたり、誤検知する原因になります。
※各部品を取り外して、必ずこまめにお手入れをしてください。
※お手入れをするときは、けがを防止するためゴム手袋を着用してください。

⚠ 警 告

プラグを抜く

お手入れのときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く
- ショート・やけど・感電の原因になります。

◎電源プラグをコンセントに差し込んだまま、お手入れをしない。

禁止

お手入れに薬品、塩素系、酸性タイプの洗浄剤を使用しない
- 有毒ガスが発生して、健康を害する原因になります。

必ずお守りください

※お手入れをするときは、必ず電源プラグをコンセントから抜き、本体、水タンク、ヒーターが十分冷めてからおこなってください。（やけど・感電の原因）

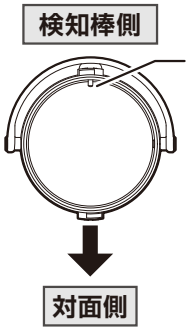
※お手入れをするときは、接続部や検知棒カバーをぬらしたり、ぬれているシンクなどに水タンクを直接置かないでください。（感電・火災の原因）

お手入れと保管

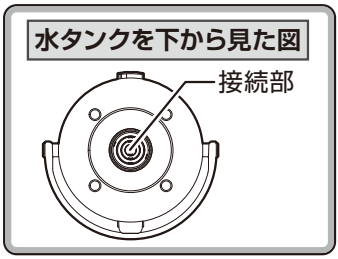
水タンク、ヒーター、検知棒（1週間に1回以上）　丸洗いできません

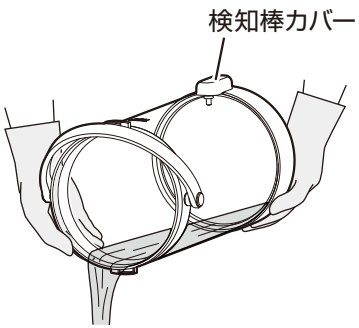
- 検知棒の対面側に、水タンクを傾けて排水します。
- 水タンクに少量の水を入れて、軽く振り洗いして排水します。
- 落ちにくい汚れは、薄めた食器用中性洗剤に浸したやわらかいふきんをよくしぼってふき取るか、やわらかいブラシを使用して汚れを落とします。
- 水タンクを水ですすいで、汚れや洗剤を洗い流します。
- お手入れしても汚れがきれいに落ちないときは、クエン酸洗浄をおこなってお手入れをします。（21ページ参照）

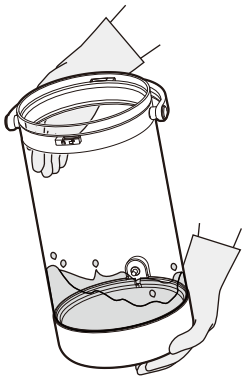
※接続部や検知棒カバーは、ぬれたふきんでふかないでください。

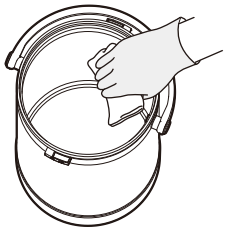


排水するときは、検知棒の対面側に水タンクを傾ける。
接続部や検知棒カバーに水をかけたり、ぬらさない。
ぬれているシンクなどに水タンクを直接置かない。









注 意

※水タンク内は、汚れが付着しないように、こまめにお手入れをしてください。
（とくに検知棒周辺に汚れが付着すると、誤検知する原因）
※検知棒に強い力を与えないように、十分注意してお手入れしてください。
（故障の原因）
※水タンク、ヒーター、検知棒は、漂白剤、みがき粉、たわし、スポンジの研磨面、金属ブラシ類、傷が付きやすい物、かたい物でこすらないでください。（傷・腐食の原因）
※水タンクは、ガラス製です。
落としたり、物にぶつけたり、衝撃が加わるような取扱いをしないでください。
（ひび割れ・破損の原因）

水タンク、ヒーター、検知棒（1週間に1回以上） つづき 丸洗いできません

水タンクの汚れは、必ずお手入れしてください。

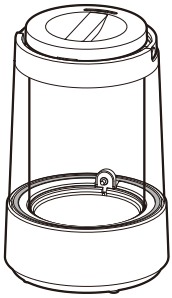
※ヒーターで水を加熱して沸騰させたスチームで加湿しています。
水を沸騰させることで、水道水に含まれているミネラル分やカルキが、水アカ汚れやカルキ汚れとなって水タンク、ヒーター、検知棒に付着します。
水アカ汚れやカルキ汚れを放置すると、汚れの固着、異臭、カビや雑菌の繁殖、故障、水漏れ、安全装置がはたらいたり、誤検知する原因になりますので、必ず1週間に1回以上こまめにお手入れをしてください。

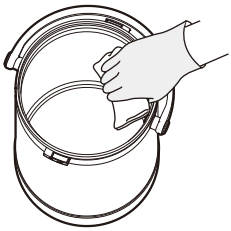
ワンポイントアドバイス

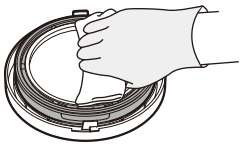
■ お手入れしても汚れがきれいに落ちないときは

クエン酸洗浄のしかた

❶コップにクエン酸18gを入れ、ぬるま湯でよく溶かしてクエン酸水を作ります。
❷クエン酸水を水タンクに入れて、水をMAX線まで入れます。（MAX線を超えない）
❸ふたを取り付けて「強」で約30分運転してから電源を切り、2～4時間放置します。
※汚れが気になるときは、長めに4時間程度放置してください。
❹排水して水タンクを水ですすぎ、水に浸したやわらかいふきんをよくしぼって水タンクの汚れをふき取ります。
❺さらにもう一度水タンクを水ですすいで、汚れやクエン酸水を洗い流します。
クエン酸水を十分洗い流さないと、においが残ることがあります。
※においが気になるときは、水のみを入れ再度沸騰させてから、すすぎ洗いをしてください。
❻水タンクやふたの水分を乾いたやわらかいふきんでふき取り、よく乾燥させます。







※故障の原因になるので、クエン酸の濃度を濃くしたり、クエン酸洗浄を頻繁におこなわないでください。

ふた（1週間に1回以上）　丸洗いできません

ふたのお手入れ

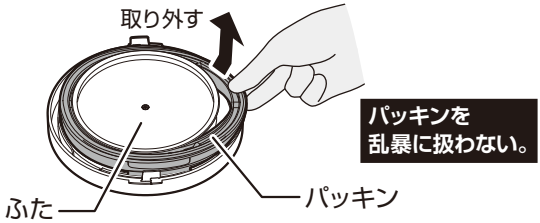
- 乾いたやわらかいふきんで、ホコリや汚れをふき取ります。
- 落ちにくいホコリや汚れは、薄めた食器用中性洗剤に浸したやわらかいふきんをよくしぼって、ふき取ります。
  さらに乾いたやわらかいふきんで、洗剤が残らないようにきれいにふき取ります。

パッキンのお手入れ

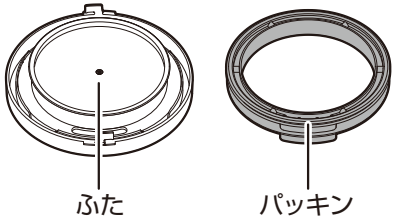
- パッキンは、取り外して水洗いできます。
  食器用中性洗剤をやわらかいスポンジに含ませて、水洗いします。
- 洗剤が残らないように水で洗い流して、乾いたやわらかいふきんで水分が残らないようにふき取り、よく乾燥させます。

パッキンの取り外しかた

- ふたを裏返して、パッキンを軽く引っ張って取り外します。

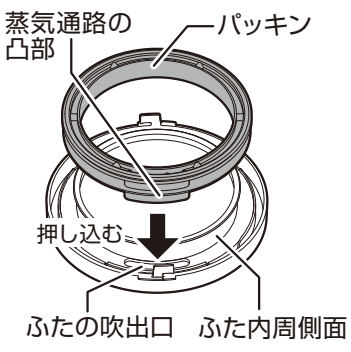


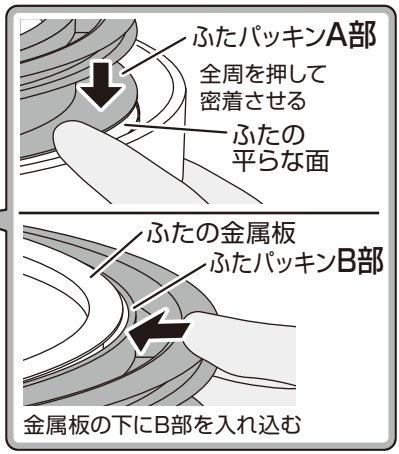
パッキンを取り外した状態



パッキンの取り付けかた

- 蒸気通路の凸部を吹出口にしっかり押し込みます。
- 蒸気通路部を押さえながらパッキンを軽く引っ張り、ふた内周側面にパッキンをはめ込みます。
- ふたパッキンA部の全周を押して、ふたの平らな面にパッキンを密着させます。
- ふたパッキンの外周部を軽く引っ張りながら、ふたの金属板の下にパッキンB部を入れ込みます。
  軽く引っ張ってもうまく入り込まないときは、押し込んで入れ込みます。





お手入れと保管

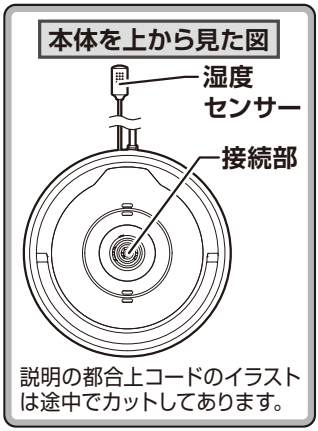
ふた（1週間に1回以上）　つづき　　丸洗いできません

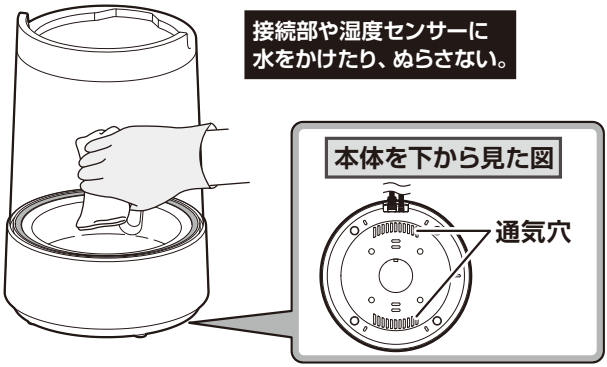
注 意

※使用後やお手入れしたあとは、ふた裏側や金属板に付着した水滴をふき取ってよく乾燥させてください。（水アカ汚れやカルキ汚れ固着の原因）

本体（適 時）　　丸洗いできません

- 掃除機のソフトブラシで、通気穴のホコリを吸い取ります。
- 乾いたやわらかいふきんで、通気穴や本体のホコリや汚れをふき取ります。
- 落ちにくいホコリや汚れは、薄めた食器用中性洗剤に浸したやわらかいふきんをよくしぼって、ふき取ります。
  さらに乾いたやわらかいふきんで、洗剤が残らないようにきれいにふき取ります。
  ※接続部、操作部、湿度センサーは、ぬれたふきんでふかないでください。





保　管

- 保管の前は、必ずお手入れをします。
- お手入れ後は、よく乾燥させてからポリ袋をかぶせ、直射日光や湿気を避けて保管します。（湿ったまま保管すると、カビの発生、異臭、故障の原因になります）

注 意

※リモコンは、電池を取り出してから保管してください。（故障の原因）
※電源コードや湿度センサーの根元を曲げたり、電源コードを本体に巻き付けたり、電源コード、電源プラグ、湿度センサーに力が加わるような状態で、保管しないでください。（異常発熱・火災の原因）

仕　　様

製品名　品番	スチーム式加湿器　　KS-TM3
定格電圧	AC 100V
定格周波数	50-60Hz
定格消費電力	600W
運転時消費電力	430W　※「強」運転時
製品寸法(約)	幅:215mm×奥行:215mm×高さ:345mm
製品質量(約)	2.5kg
コード長(約)	1.5m
水タンク容量	3L
※加湿量(約)	「弱」300mL/h　「中」450mL/h　「強」600mL/h
※連続使用時間(約)	「弱」10時間　「中」6.5時間　「強」5時間
※適用床面積(約)	木造和室:10畳　プレハブ洋室:17畳　※「強」運転時
安全装置	給水表示時、運転停止 (空だき防止機能)
	電流ヒューズ
	温度ヒューズ、サーモスタット (温度過昇防止装置)

●製品の仕様や外観は、改善のため予告なく変更することがあります。
●製品寸法の奥行については、コードブッシュ(製品本体側の電源コード根元部)や湿度センサーは含んでいません。

■ **加湿能力について**(仕様欄の※印)

加湿量、連続使用時間、適用床面積につきましては、室温20℃・湿度40～60%の条件の基で測定した値を表示しています。
製品の加湿能力は、部屋の温度・湿度、部屋の構造・材質、使用されている暖房機器などの影響で変化するため使用される条件によっては、表示値に対して差異が生じることがあります。

■ **電気代について**(電気代は、電気料金目安単価 31円/kWhを基に算出しています)

●「強」運転時:1時間あたり 約13.4円　●電源入時の最大出力運転時:30分(目安)の運転で 約9.3円

故障かな？と思ったら

※お問い合わせや修理を依頼される前に、下記を確認してください。

症状	原因	処置 または お知らせ
スチームの出が悪い スチームが見えない	●室温が高かったり、湿度が低い環境ではありませんか？	●使用環境(室温が高かったり、湿度が低いなど)によっては、スチームが空気中に気化しやすくなるため、使い始めや運転中にスチームが見えにくいことがあります。
	●ヒーターや吹出口が汚れていませんか？	●ヒーターや吹出口のお手入れをしてください。
運転中に音がする	●沸騰音ではありませんか？	●水を沸騰させたスチームで加湿していますので、運転状況によっては沸騰音がしますが、故障や異常ではありません。
スチームが臭う	●水タンク、ヒーター、ふたが汚れていませんか？	●水タンク、ヒーター、ふたのお手入れをしてください。

故障かな？と思ったら

※お問い合わせや修理を依頼される前に、下記を確認してください。

症　　状	原　　因	処置 または お知らせ
水タンク内に針状や繊維状のキラキラとした浮遊物が見える	●フレークス現象ではありませんか？	●使用中、水タンク内に針状や繊維状のキラキラとした浮遊物が見えることがあります。 これは「フレークス現象」といわれるもので、水道水に含まれるミネラル成分が加熱されることで結晶化したもので、比較的ミネラル成分の多い水やアルカリ性の強い水で、この現象が起こりやすくなります。 この浮遊物は、ガラスの破片や異物の混入ではなく、水道水に含まれる成分ですので健康を害したり、人体に影響はありません。
水が残っているのに運転が停止する	●表示部に「EP」が表示されていませんか?	●検知棒付近を基準に水位の「規定以上」、「規定以下」を検知しています。 したがって、検知棒付近まで水が残っていても「EP」が表示され運転が停止します。
水位を誤検知する 十分水があるのに給水表示「EP」が表示されたり、逆に渇水状態になる。	●水タンク内（とくに検知棒周辺）に水アカ汚れやカルキ汚れが付着していませんか？	●水タンク内（とくに検知棒周辺）に水アカ汚れやカルキ汚れが付着すると、誤検知して下記①、②の状態になることがあります。 ①水位が規定以上あるのに、給水表示「EP」が表示される。 ②水位が規定以下になっても、給水表示「EP」が表示されず運転が停止しない。 （このとき渇水状態になることがありますが、安全装置がはたらくため運転が停止します） 誤検知防止のため、水タンク内（とくに検知棒周辺）は汚れが付着しないように、こまめにお手入れをしてください。
「AU」に設定しても現在湿度表示が50%～60%にならない	●窓を開けたまま使用していたり、湿度が60%以上のお部屋で使用していませんか？	●使用環境によっては、現在湿度表示が50%～60%にならないことがあります。 （お部屋の室温や湿度、常に換気をしているなど）
水タンクがセットされているのに「00」が表示される	●故障が考えられます。	●水タンクがセットされている状態や運転中にエラー表示「00」が表示されたときは、下記の処置をおこなってください。 ①電源を切ってから電源プラグをコンセントから抜く。 ②本体から水タンクを取り外してセットし直す。 ③電源プラグをコンセントに差し込み、電源を入れる。 上記の処置をおこなって「00」が表示されなくなれば正常ですが、再度表示されるときは故障が考えられますので、お買上げの販売店に点検や修理を依頼してください。
表示部に「E1」、「E2」、「E3」のいずれかが表示される	●センサーが故障しています。	●エラー表示「E1」、「E2」、「E3」のいずれかが表示されたときは、電源スイッチで電源を切る以外の操作ができなくなります。 使用を中止して、お買上げの販売店に修理を依頼してください。

故障かな？と思ったら

症　　状	お知らせ
表示部の湿度表示とお部屋の湿度計の湿度が違う	●表示部の湿度表示は、電源コードに固定した湿度センサーで、本体周辺の湿度を検知して表示しています。 お部屋全体の湿度を検知するものではありませんので、表示部に表示している現在湿度とお部屋の湿度計が異なることがあります。
照明器具がちらつく	●設定内容に合わせてヒーターの出力を制御して加湿量を調節したり、コントロールしています。 ヒーターの出力制御にともなって、消費電力が変動することで屋内の電圧が変動してお使いの照明器具の種類によっては一瞬暗くなったり、ちらつくことがあります。

点検のお願い

安全に長く愛用していただくために日頃から点検をおこなってください。

★こんな症状はありませんか？

★異常があれば

●電源コードや電源プラグが異常に熱い。
●電源コードや電源プラグに深い傷や被覆破れがある。
●電源プラグが変形している。
●電源コードを動かすと通電したり、しなかったりする。
●水漏れする。
●変形や破損している。
●異常な音がする。
●製品に触れるとピリピリと電気を感じる。
●製品が異常に熱かったり、こげ臭いなどの異臭がする。
●その他の故障・異常・破損がある。

→ **使用中止 !!**

故障や事故防止のため、電源プラグをコンセントから抜いて、必ず販売店に点検や修理を依頼してください。

●表示部に「E 1」、「E2」、「E 3」が表示され使用できない。（センサー故障）

→ 使用を中止してお買上げの販売店に修理を依頼してください。

●電源プラグやコンセントにホコリやごみが付着している。

→ ホコリやごみを取り除いてください。

アフターサービスについて

●**本製品は、保証書が付いています。**
お買上げの際に、販売店より必ず保証欄の「お買上げ年月日」と「販売店印」の記入を受けてください。

●**保証期間は、お買上げ日より1年です。**
保証期間中の修理は、お買上げの販売店に依頼してください。
保証書の記載内容により、修理いたします。
その他詳細は、保証書を参照してください。

●**保証期間経過後の修理（有料）については、お買上げの販売店に、依頼してください。**

●**本製品の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後6年です。**
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために、必要な部品です。

●**サービスパーツについて**
ふたパッキンなどのサービスパーツについては、お買上げの販売店に、お問い合わせください。

■ 使いかたやお手入れなどのお問い合わせは下記へ

本製品についての取扱いや、お手入れ方法のお問い合わせ、転居されたり贈答品などで、販売店に修理の依頼ができない場合は、右記へお問い合わせください。

「山善　家電お客様サービス係」
ナビダイヤル **0570-077-078**
※PHS、IP電話など一部の電話からは、利用できません。
受付時間：10：00～17：00（土、日、祝日を除く）

FAXまたはEメールでのお問い合わせも受け付けています。
その際は、製品名、品番、お問い合わせ内容、お名前、電話番号を記入のうえ、お問い合わせください。

●FAXでのお問い合わせは フリーダイヤル **0120-680-287**

●Eメールでのお問い合わせは **info_m@yamazen.co.jp**

個人情報の取扱いについて
株式会社 山善およびその関係会社は、お客様の個人情報やお問い合わせ内容を、お問い合わせへの対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。
また、個人情報を適切に管理し、修理業務などを委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者には提供しません。

※お問い合わせのときは、保証書に記載の製品名、品番をお知らせください。